



うわじま 市議会だより

令和6年
(2024)
第77号

12月1日



宇和島百景～予土線3兄弟～

12月定例会の日程

(12月)

- 3日 本会議 (開会、理事者提案説明)
- 11日 本会議 (一般質問)
- 12日 本会議 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 16日 委員会 (厚生委員会)
- 17日 委員会 (産建教育委員会)
- 18日 委員会 (総務環境委員会)
- 23日 本会議 (委員長報告、質疑・討論・採決、閉会)

令和6年度 一般会計補正予算

9月定例会 4億3,207万円を追加
総額481億4,050万円

もくじ

- 臨時会、定例会議決結果・議員別賛否一覧表 … 2～4
- 人事の同意 ……………… 4
- 一般質問 ……………… 5～16

令和6年8月第96回宇和島市議会 臨時会 議決結果一覧表

番号	件名	議決結果
報告 第12号	専決処分した事件の報告について	即日受理
専決 第7号	物損事故の和解について	即日受理
専決 第8号	宇和島市立公民館設置条例の一部を改正する条例	即日受理
議案 第69号	財産の取得について	即日原案可決
議案 第70号	財産の取得について	即日原案可決
議案 第71号	工事請負契約について	即日原案可決
議案 第72号	工事請負契約について	即日原案可決
議案 第73号	工事請負契約の変更について	即日原案可決

議員別 賛否一覧表

※下表には議案等について、賛成、反対の双方があった議案のみ表示しています。

議員名 議案等	みずほ						市民クラブ			公明党		あゆみ			自由民主党 創政会			with市民		無党派		賛成 合計	反対 合計	退席 合計	議決結果				
	松本 孔 議長	三 重 郎	佐 々 木 宣 夫	中 平 政 志	清 家 康 生	福 本 義 和	泉 雄 二	上 田 富 久	梶 山 三 也	川 口 晴 代	武 田 元 介	我 妻 正 三	畠 山 博 文	吉 川 優 子	兵 頭 司 博	石 崎 大 樹	山 瀬 忠 弘	浅 田 美 幸	赤 松 孝 寛	坂 尾 眞	榎 野 洋 子					浅 野 修 一	田 中 秀 忠	山 本 定 彦	
議案 第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	欠	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19	1	0	即日原案可決

※松本孔議員は議長のため採決に加わっておりません。

(○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)



令和6年9月第97回宇和島市議会 定例会 議決結果一覧表

番 号	件 名	議決結果
宇監報告第8号	行政監査結果報告について	即日受理
宇監報告第9号	6月例月出納検査の結果報告について	即日受理
宇監報告第10号	7月例月出納検査の結果報告について	即日受理
宇監報告第11号	令和5年度宇和島市公営企業会計決算審査意見の提出について	即日受理
宇監報告第12号	令和5年度宇和島市健全化判断比率及び宇和島市資金不足比率審査意見の提出について	即日受理
宇監報告第13号	令和5年度宇和島市一般会計及び特別会計歳入歳出決算並びに基金運用状況審査意見の提出について	即日受理
報告第13号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率	即日受理
報告第14号	地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率	即日受理
報告第15号	専決処分した事件の報告について	即日受理
専決第9号	車両接触事故の和解について（水産課）	即日受理
議案第74号	宇和島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第75号	宇和島市コミュニティバスの設置及び管理運営等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第76号	宇和島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第78号	令和6年度宇和島市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
	令和6年度宇和島市一般会計補正予算（第2号）に対する修正案（提出：産建教育委員会）	即日否決
議案第79号	令和6年度宇和島市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第80号	令和6年度宇和島市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第81号	令和6年度宇和島市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第82号	令和5年度宇和島市水道事業会計その他未処分利益剰余金変動額の処分について	原案可決
議案第83号	愛媛地方税滞納整理機構の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決
議案第84号	愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	原案可決
議案第85号	宇和島市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	即日同意
議案第86号	宇和島市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	即日同意
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意

諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
議員提出議案第4号	防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書	即日原案可決
認定第1号	令和5年度宇和島市一般会計及び特別会計決算の認定について	閉会中の継続審査
認定第2号	令和5年度宇和島市公営企業会計決算の認定について	閉会中の継続審査
	令和5年度宇和島市一般会計及び特別会計決算審査特別委員会委員の選任について	指名推選
	令和5年度宇和島市公営企業会計決算審査特別委員会委員の選任について	指名推選

請願・陳情（新規審査分）

番号	件名	議決結果
陳情第17号	密室から開かれた委員会を求める意見書	不採択

議員別 賛否一覧表

※下表には議案等について、賛成、反対の双方があった議案のみ表示しています。

議員名 議案等	みずほ					市民クラブ			公明党		あゆみ			自由民主党 創政会			with市民		無会派		賛成 合計	反対 合計	退席 合計	議決結果				
	松本 孔議 長	三 曳 重 郎	佐 々 木 宣 夫	中 平 政 志	清 家 康 生	福 本 義 和	泉 雄 二	上 田 富 久	梶 山 三 也	川 口 晴 代	武 田 元 介	我 妻 正 三	島 山 博 文	吉 川 優 子	兵 頭 司 博	石 崎 大 樹	山 瀬 弘	浅 田 美 幸	赤 松 孝 寛	坂 尾 眞					榎 野 洋 子	浅 野 修 一	田 中 秀 忠	山 本 定 彦
議案第78号	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	13	10	0	原案可決	
(提出：産建 教育委員会) 議案第78号	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	11	12	0	否決	
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	22	1	0	原案可決

※松本孔議員は議長のため採決に加わっておりません。

(○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)



●人権擁護委員
久保政文
田崎智子
毛利すみ子
若松孝哉
大塚哲哉

●宇和島市教育委員会委員
佐竹克哉

●宇和島市教育委員会教育長
山村由美

9月定例会において、市長から人事案件が提案され、次の方が選任されました。

人事の同意



自由民主党 創政会

山瀬 忠弘
やませ ただひろ

市立病院の看護師不足について

【質問】

現在の市立宇和島病院の看護師の状況について問う。

【答弁：医療行政管理部長】

市立宇和島病院の看護師の状況については、これまでも慢性的な人手不足の状態が続いていましたが、昨年度は特にこの問題が顕在化しました。令和5年4月1日現在で383名在籍していましたが、本年4月1日現在で360名と、23名の大幅減となっております。病院局5施設全体においても、同時点での比較をしまして、470名から443名、27名の減となっております。宇和島病院のみならず、病院局全体として大変厳しい状況となっております。

【質問】 津島熱田温泉の今後のスケジュールについて問う。

【答弁：産業経済部長】

令和8年3月末の完成、令和8年ゴールデンウィークのオープンを目指しています。

【質問】

榑崎大橋の供用開始の時期を問う。

【答弁：建設部長】

令和7年度中の供用開始を目標に、今年度は秋頃に予定している橋桁の架設に向け、上部工の工事を進めていると愛媛県から聞いています。

しい状況だと聞いている。当学校は、他の看護専門学校に比べ、授業料は県内では比較的安価で、先生や事務職員の方々もとても優秀で、アットホームで人気がある。しかしながら、今後先生方や学校施設本体の修繕費も増えてきている。何とかその裏づけとなる運営費に対する補助金の増額をできないだろうか。

【答弁：企画政策部長】

宇和島看護専門学校に対しては、看護師養成機関に対する愛媛県運営費補助金を補完する形で、本市においても前年度の運営状況に応じて支援をしています。現在の補助金の算出方法については、学校設立時の協議に基づき設定しているものですが、近年の物価高騰や人件費の上昇など、学校設立当時から状況が変化していることを認識していますので、要請がございましたら、関係機関での協議など検討したいと考えています。

【質問】

市立宇和島病院はさくら保育園を併設して、少しでも労働環境の向上に努めている。現在のさくら保育園の状況について問う。

いる。現在のさくら保育園の状況について問う。

【答弁：医療行政管理部長】

市立宇和島病院の院内保育所、さくら保育園について、本年4月1日現在の園児数は32名、職員数は12名で、1歳から就学前までの幼児をお預かりしています。保護者の仕事の都合により、家庭での保育が困難な病气中または病气回復期にある子どもを一時的に預かる病児保育も同時に行っています。また、職員の早期職場復帰を支援するため、今年度保育士を増員し、ゼロ歳児の受入れ体制の充実を図るところです。

【質問】

看護師の人材確保のため、これまでの対策を問う。

【答弁：医療行政管理部長】

まず、負担軽減及び環境改善の取組としまして、業務内容の見直し、看護補助員の増員や他職種によるタスクシフトの推進等に加え、本年度には処遇改善手当の増額を行っています。また、職員確保の取組としましては、県内、近隣各県の学校訪問など地道な活動を継続しながら、宇和島看護専門学校をはじめとする看護学校への進学を支援する奨学金制度などを本年度拡充するとともに、採用後の生活支援としての住宅借り上げ制度など、看護師の育成及び生活面での援助も行ってきたところです。さらには、職員募集についても、市広報への募集チラシの折り込み配布や市公式SNSへの掲載などに加えて、新たな試みとしまして地域情報紙への掲載など、職員募集の周知拡大に努めるとともに、今年度新設しました経験者枠の受験者には筆記試験を一部免除するなど、一定の配慮をしています。

その他の質問事項

◆南海トラフ地震に対する本市の危機管理体制について

◆選ばれるまちへ



あゆみ

吉川 優子
よしかわ ゆうこ

伊達博物館改築事業について

【質問】

コロナ禍による物価高や資材の高騰、人件費の上昇等により、当初に計画されていた予算と比較して博物館本体の建設工事が幾ら増額となったか。

【答弁：教育部長】

昨今、物価、資材、人件費等の高騰傾向にある中、これまで伊達博物館建設に係る入札は2回不調になっています。建設工事については、当初34億5,000万円から42億円の見込みとなっており、7億5,000万円の増額となっています。

【質問】

入札不調を受けての見直しも行われていたのだと思うが、コストダウン等努力した点を問う。

【答弁：教育部長】

内装材の仕様変更等、できる限り変更を行い、4

億2,000万円の縮減を、1回目の入札不調の後においても、屋根の材料や外構の見直しなどによって約4,000万円の縮減を図っており、可能な限り工事費の縮減に努めているところですが。

【質問】

今定例会に上程されている債務負担行為の増額が認められなかった場合、国からの補助金に影響を及ぼすのではないかと心配されている市民の方もいる。再度、ほかの設計事務所設計から練り直した場合のメリットとデメリットについて問う。

【答弁：教育部長】

現状においては、国の補助金等の支援が76%受けられるなど、できる限り本市の財政負担が軽くなるよう努力していましたが、設計をやり直し、事業の進捗が遅れた場合、国からの支援が不透明な状況となるものと判断をしています。

そのほか考えられる影響としては、設計のやり直し

によって必要となる経費を吸収しながら全体事業費の縮小を図るためには、規模

の縮小が不可避でありま

す。意匠性の高い建物の建設も困難となります。

また、事業の進捗が遅れることによって、南海トラフ巨大地震等による文化財の被災リスクも高まることになりま

す。

以上のことから、設計の見直しによるメリットを見いだすことは現状において困難であると考えています。

【質問】

入札不調の様々な事情を受けて、所見を問う。

【答弁：市長】

厳しい状況ではあるが、この地域の歴史文化、しっかり確保していくと、そして国内外へとアピールをしていく、こういった理念がやはり重要であると思う。

【質問】

隈研吾氏の設計の伊達博物館ができた場合、公開承認施設となる予定と聞いている。これまでに加えてどのようなことができるようになるのか。

【答弁：教育部長】

認定によって、これまで本市では見る機会の少なかった国宝や重文などの貴

重な資料を活用して、より魅力ある企画展を開催し、市民の関心及び文化的素養を高めるとともに、市外からの誘客促進による観光振興、交流を図りたいと考えています。

【質問】

このような大きな事業を成し遂げようとする場合には、何より必要なのは志や心意気、情熱、パッションに共通する熱量ではないか。市民の皆様を圧倒するような熱量が足りないのではないかと感じているが、どのように考えているか。

【答弁：教育部長】

新博物館の建設に対し様々な御意見があることは承知していますが、本市にとつて博物館はなくてはならないものであると認識しています。

宇和島伊達文化をはじめ、宇和島が誇る歴史、文化や伝統などを後世に継承し、その魅力を市民はもとより国内外に広く発信する施設として、また市民の憩いや交流人口、関係人口拡大の場ともなる新博物館の建設に向けて、引き続き着実に取り組んでいきます。

【質問】

伊達博物館改築への思いを問う

【答弁：市長】

この地域のことを、次の時代につなげていきたい、そういった思いで取り組んできたところです。

ただ一方で、いろんな御意見がある中、それでもやらなければならないことは、やはりやらなければならないということ、今取り組んでいるところですし、そのために本市の財政にも負担がないように、様々な努力を繰り返しているところでは

本市の中心だけではなく、合併した旧3町にも及ぶものはどうやらたうでできるか。そして、梶原町を含めた全体としてどのように取組をなしていくことができるか。これからも多くのことを考えながら、この地域の価値を高めていくよう努力を重ねていきたいので、これからもぜひともお力添えをいただきたいと思っております。

公明党

わがつま
我妻 正三
しょうぞう

「LGBTQについて」

【質問】 パートナーシップ宣誓制度の導入についても決定するぐらいの時期にきているのではないかと思っています。

所管である教育委員会として、パートナーシップ宣誓制度導入についてどのように考えているか。

【答弁：教育部長】

パートナーシップ宣誓制度については、教育委員会として平成28年度から、性的マイノリティの方に対する理解を深めることを目的として、当事者から直接生の声を聞く場として、講演会や現地研修などを積み重ねてきました。継続的に実施したことで、ある程度の理解の促進を図ることができたのではないかと思います。

パートナーシップ宣誓制度に限らず、ファミリーシップ制度も含めて、他市

町等のサービスの内容を調査した上で、先般、全庁的な調査を実施して、本市が提供可能なサービスの内容を取りまとめたところであります。

今後としましては、教育委員会として、教育委員の勉強会を通じて御意見もいただきながら、導入する方向で進めていきたいと思っております。

【質問】

パートナーシップ宣誓制度導入についての見解を問う。

【答弁：市長】

教育長が答弁申し上げたとおり、検討していく中で、導入の方向で進めていくように考えています。

「デジタル住民票NFT」について

【質問】

NFT（非代替性トークン）とはどういうことなのか。

【答弁：企画政策部長】

NFTとは、偽造や改ざんをすることができないデジタルデータのことです。

従来、デジタルデータは簡単にコピーや書換えができるため、実物の芸術作品であったり、貴金属などのように資産価値があるものとはみなされていませんでした。

こうした中、新たなデジタル技術を活用し、偽造や改ざんすることができない、世界でただ一つのデジタルデータの作成を実現することができたものがNFTです。

唯一無二の資産であることの証明が可能になったことによって、デジタルアートであったり、音楽、スポーツをはじめとした分野で活用されているところです。

【質問】

KDDIと連携し販売した宇和島市関係人口創出を目指すNFT企画第1弾の概要について問う。

【答弁：産業経済部長】

愛媛県の仲介の下、KDDI社からの提案による実証実験として、3月8日から7月31日にかけて、宇和島城にちなんだNFTをオンライン上で販売し、購入者には、限定の特典として、宇和島城での特別な体験を

提供するものです。

特別な体験の内容は、特別甲冑を着用してのお城まつり参加や宇和島城夜間開城でのガイド付きツアー、天赦園でのお茶会、お城インスタグラムKAKAORRさんの現地ツアー等の6点とし、宇和島城への来訪を促すきっかけになればとの狙いで取り組んだものです。

【質問】

この販売について、どのような評価をしているか。

【答弁：産業経済部長】

今回の実証実験による販売実績ですが、16点御購入をいただき、販売金額は3万9,700円でした。

このうち、天赦園でのお茶会や宇和島城夜間開城でのガイドつきツアー及びお城インスタグラムとの現地ツアーなど、実際に12名の方に御来訪をいただきました。

中でも、お城インスタグラムとの現地ツアーでの満足度アンケートでは、10段階中9.3点の評価で、体験者の声では、「宇和島城ツアーがとても楽しかったし、おいしいものが食べ

られた」「自分にとって宇和島市がまた来たいと思えるまちになった」などの御意見をいただいたことから、ふだんは体験できない特別な体験を通じて、観光客の満足度を向上させ、宇和島城への来訪者を増やしていく取組として、一定の成果を得られたのではないかと考えています。

【質問】

NFTを活用した関係人口の創出の取組について、今後どのように考えているのか。

【答弁：総務部長】

本市におけるNFTの活用については、さらなる関係人口の創出に向け、一つの手段になる可能性があるものと認識をしておりますけれども、自治体での活用もまだ始まったばかりですので、まずはNFTの特性や効果等を十分に理解・把握する必要がありますと考えています。

その他の質問事項

◆ヤングケアラー支援の強化について

◆風疹クーポン券について

市民クラブ

上田 富久
うへだ ふみひさ

小学校の統廃合について

【質問】

令和6年4月26日付で、宇和島市立小中学校適正規模、適正配置等に関する基本方針が教育委員会から示された。

今回示された計画と平成30年に示された計画との変更点について問う。

【答弁：教育長】

主な変更点としては2点です。

1点目は、旧3町においては、急激に出生数が減少している状況を勘案して、小学校の数を原則各1校とします。

2点目は、具体的な統合の目標時期を方針に盛り込み、公表して、皆様方へ周知したことです。

なお、個別の統合を進めていく上では、保護者及び地域の皆様に御理解を得られるよう丁寧な説明に努めていきたいと考えています。

【質問】

新しい年度に入り、年間の学校行事が発表され、修学旅行、運動会などの行事が終わった統廃合まで1年を切ったタイミングで、計画が発表される。なぜ新年度が始まる前に計画の発表ができなかったのか。

【答弁：教育長】

本来であれば、昨年度末までには計画発表を行うとともに、保護者の皆様、地域の皆様に対する説明を行うべきでした。学校の適正規模、適正配置については、子どもたち、保護者の皆様方はもとより、地域にとっても非常に大きな影響を及ぼすことから、検討に時間を要してしまいました。



はまゆう寮について

【質問】

はまゆう寮の入寮条件について問う。

【答弁：教育長】

遠距離等の理由により通学が困難な生徒を入寮対象としており、これまで、日振島、戸島、嘉島及び半島の蔭刈地区の生徒が入寮しています。

【質問】

令和9年度から入寮者が激減するが、はまゆう寮はまだ新しい施設である、どのように活用をしていくのか。

【答弁：教育長】

急速に進む少子化に伴い、令和9年度以降、寮生も急激に減少する見込みであることから、どのような活用が可能か、保護者のお考えもお聞きしながら検討する必要があると考えています。

【質問】

生徒数の減少に伴い教師の数も減っており、城南中学校の先生方の舎監業務による負担が大きくなっているが、今後、どのような対応

応をし、教師の負担軽減を図っていくのか。

【答弁：教育長】

業務の性質上、家庭の事情によって舎監業務に従事することができない教員もいますし、教育委員会としては、教職員の働き方改革を進めていく上でも、教員の負担軽減の方法について検討しているところです。

丸山公園陸上競技場の使用について

【質問】

現在、丸山運動公園陸上競技場の芝生部分の使用が禁止されているが、その理由と使用できない時期はいつまでなのか。

【答弁：教育長】

通常なら12月頃から冬枯れの時期に入ってきますが、昨年は、11月上旬から芝が枯れる等の異常が見られました。

調査の結果、害虫及び葉枯病菌の発生によるものと判明したので、それらの駆除を行うとともに、芝の回復、養生等のため、今年の3月までは大会の予約が

入っていたことなども考慮の上、令和6年度当初より、芝生の部分を使用禁止としています。

芝の現状ですが、継続して薬剤散布、散水、刈り込みを行うとともに、梅雨時期前に芝の苗をまくなどの対応を行ったところ、かなりよい状態に戻ってきています。

ただし、害虫、病菌、芝、いずれも生き物であり、今後の気候の変化による影響を受けることも考えられるので、状況を注視しながら、引き続き芝生部分への対応を行うとともに、できるだけ早期に使用を可能にできたらと考えています。

その他の質問事項

- ◆伊達博物館改築について
- ◆沖の島自然保護活動の継続について



自由民主党 創政会

あかまつ 赤松 孝寛 たかひろ

南予文化会館及び体育館の復旧工事の進捗について

【質問】
なぜ2回目の公告で予定価格が債務負担行為の満額に近い金額に設定したのか。

【答弁】：建築住宅課長

入札不調後、応札に至らなかつた要因調査の結果、主に予定価格と応札可能価格との乖離があることから、再度最新の見積りと最新の公共単価に置き換え再積算を行ったところ当初の想定以上に価格が上昇していたため、予備費の予算分も使用することになりましたが、債務負担の限度額内であったことから早期の営業再開を目指して再公告を行い、契約に至りました。

【質問】

応札した業者は2者、そのうち1者は落札業者と比べ金銭的に3,500万安かつたが、総合評価が0.2

ポイント落札業者のほうよかった。この経緯を市民にご説明するのか。

【答弁】：副市長

総合評価落札方式は価格のほか技術能力や実績などの要素を含め総合的に優れた業者を選定する方式です。

【質問】
評価値の算定式は、基礎点80点、施工体制確認点20点、加算点10点の合計110点満点の得点合計を入札価格で割った値で算定します。

【答弁】：副市長
基礎点と施工体制確認点は要件を満たしやすく満点となり差がつかないため、結果、加算点と入札価格が高評価値を得るために重要となります。

【質問】
今回、総合評価方式の加算点の評価項目として、市の試行要領に基づき8項目を設定しました。

【答弁】：副市長
応札者2者の得点状況は8項目中同点が4項目、その他の4項目は全て今回落札業者の得点が上回っていた結果として3,500万円入札額が高い業者が落札に至ったものです。

伊達博物館改築事業・熱田温泉整備事業について

【質問】

現在寄託を受けている宝物は仮に災害が起きたとき、高価な物、秀吉像等宝物が壊れたときの補償はどのようにするのか。

【答弁】：教育部長

博物館で宇和島伊達文化保存会から寄託を受けているものは一点、豊臣秀吉像です。

【質問】
災害等で棄損、滅失した場合無償で寄託を受けている場合は市として自分の財産と同じ注意義務を持つて保管することになっており、何かあったときの補償は市としては負う義務はないという内容です。

【質問】

寄託を受けている宝物は1点なのか。それ以外は宝物的なものはないのか。

【答弁】：教育部長

あとは博物館自身が所蔵しているものと、文化保存会から借用して展示をしており、その都度借用して展示するので、寄託を受けているものは無償で寄託を受

けている豊臣秀吉像一点です。

【質問】

今後、寄託を受けている宝物が今の寄託の約定で法的な担保は取れて未来永劫新伊達博物館に展示できる担保はできているのか。

【答弁】：教育部長

新伊達博物館建設に向けて具体的な協議を進めていきます。

【質問】
現段階では、今年確認書という形で宇和島伊達文化保存会と宇和島市の双方にて、寄託は無償ということを確認する確認書を取り交わしています。

【答弁】：副市長
未来永劫とは書かれていませんが、今後実際に寄託契約を結ぶに当たり協議をしていきたいと考えています。

【質問】

今回この計画でいけば市税の負担が14億程度に膨れ上がることをどう説明するのか。丁寧に説明しないとイケないのではないか。

【答弁】：市長

まず14億は、第3期の3億に補助事業が入らないところを合算している数字ですので、今回の建物は11億

円ぐらゐの積算だと認識しています。

【質問】
補助事業を活用して市としての負担は考えながらのこれまでの計画なので、開館以降しっかり取り戻せるように努力を重ねていきたいと思っています。

その他の質問事項

- ◆物価高騰対策について
- ◆まちのにぎわいづくりについて
- ◆トップアスリート育成事業について
- ◆パートナーシップ制度について



市民クラブ

たけだ
もとすけ
武田 元介

新伊達博物館整備について

【質問】

新伊達博物館改築の入札不調を受け、本定例会において予想どおり総額費用を60億円ほどに増額する議案が提案されている。もうこれ以上の増額はないか。

【答弁：教育部長】

本定例会で上程した補正予算では、物価スライド条項の適用及び設計変更等の対応を見込んでおり、現段階で増額は想定していません。

【質問】

建設費等単価の上昇があった場合でも、物価スライドを適用した予算増額はないということか。

【答弁：教育部長】

物価上昇については、過去の上昇の傾向等をみているので、増額の予定はありません。

【質問】

先日のNHKの特番によると、大地震が起った際、

地盤が緩い場所の建物は、新耐震の杭基礎であつても基礎からずれてしまうことがあると能登半島地震で証された。新伊達博物館は大丈夫なのか。

【答弁：建設部長】

建築基準法では、基礎における液化化への対応は義務付けされていませんが、さらなる知見で設計を行っているところです。

【質問】

さらなる知見とは何か。NHKで軟弱地盤における建物倒壊の特集があり、今回の予算増額に加え地盤のリスクが判明した。それでも住民投票は必要ないと考えるか。

【答弁：市長】

NHK等で報道されている内容は知り得ないところですが、現在できうる設計としていきますので、今後しっかり検証していきたいと思えます。

太陽光発電設備における火災について

【質問】

本年6月4日に発生した

太陽光発電設備における火災について、現在でも原因は検証中とのこと。それでは地元の方の不安は続く。6月議会でも問うたが、市と消防と地元での対策委員会設置についてどう考えるか。

【答弁：市長】

対策委員会は地元で立ち上げられると認識しており、市としてはそこで説明をしていくこととしていますが、今はまだ原因について検証しているところですので、説明はできない段階です。

太閤画像の来歴について

【質問】

国宝級と言われている豊臣秀吉の肖像画が宇和島に残っていることは、金剛山が大切に保管していたからである。その理由は、肖像画の裏書きにもあると聞いている。この点についてどう評価しているか。

【答弁：教育部長】

裏書きとは、書画等の軸物の裏面に書かれてある由緒や注釈等のことでありま

す。秀吉像においては、江戸時代に金剛山6代住職讓天が、秀吉像を修理する際に書いたものです。讓天の出自が李氏朝鮮で、朝鮮に出兵した秀吉の肖像画との因縁や想いが綴られています。この裏書きは、秀吉像の来歴を伝える貴重な資料であると聞き及んでいきます。

【質問】

その貴重な資料は、今後も大切にしたいと思っています。

一般的に、所有権が移る際は、元の所有者が献上目録を作ると言われているが、太閤画像については金剛山から伊達家に所有権が移る際にそれが残っていない。このことをどう考えるか。

【答弁：市長】

目録等はその時々のご事情を記した書類であり、証明をするものだと思いますので、調査研究をして、正確な史実を未来へつないでいかなければならないものと認識しています。

【質問】

令和4年の博物館法の変更内容は、資料についてデ

ジタルアーカイブ化を求めるものである。いわゆる箱物やテーマ展示にお金をかけるよりも、地域に残る古文書等のデータベース化に取り組むべきと思うが、どう考えるか。

【答弁：教育長】

古文書の解読は、他の業務と平行して取り組んでいます。研究成果や保存している資料をデータベース化することは、記録の更新等が容易になり、業務の効率化につながります。また、それらのデータを公開することにより、地域や分野を超え、研究や教育等への活用が期待されます。今後、デジタルアーカイブについて、補助制度の活用を含め検討してまいります。

その他の質問事項

◆下波遊子間の通行確保について

◆犬・猫のふん尿被害対策について

◆簡易型総合評価方式の瑕疵について

With 市民

浅野 修一
あさの しゅういち

医療機関新規開業等支援事業補助金について

【質問】

2件の応募があり、指定事業者となった。議会のほうでは5,600万の予算を認めているが、6,700万の予定事業額となっている。予算的にあと1,100万足りない。これについて正副議長や所管の厚生委員会の正副委員長に、増額補正をしなければならぬという事情は報告しているのか。

【答弁：保健福祉部長】

令和7年4月を新規開業、もしくは承継予定日としていることから、年度内に終われば予算執行する可能性もありますが、いずれも今の段階で、申請段階では、年度を越える可能性もあることから、今年度補正をする必要があるのかにかについては、まだ未定のところですので、まだ報告はしていません。

【質問】

今年も含めて今後どのような計画を考えているか。

【答弁：保健福祉部長】

今年度についても、2回目の募集をする予定で、現在10月から11月にかけて公募の期間を定めようと考えています。

また、それ以降の募集については、一定程度持続性は必要と考えますが、地域医療を支えていただく医療機関の数やかかりつけ医の年齢等を考慮しながら、医師会の意見も聞き、募集時期、募集期間等については再度検討していきたいと考えています。

第9期介護保険事業計画について

【質問】

現在、三間地区には訪問介護を行う事業所はない。主として旧宇和島市内の事業所から派遣をしているようである。そして、吉田地区の唯一の訪問介護を行う事業所である社会福祉協議会の事業所が、10月末に事業所としては廃止されるこ

とになっているようです。

そうになると、当然旧宇和島市内の事業所からとなるが、遠方の利用者を受け入れてくれるのかという不安があるのではないかと思う。

そういった三間や吉田の現状も踏まえ、社協の津島事業所にも話を聞くと、当面のサービス維持には問題はないが、このままの状態が続けば、10年継続することは困難ではないかという話を担当者の方からお聞きしました。

吉田地区の当面の課題や、津島など中心部から離れた地域でのサービス提供の今後の見通しについて、担当課としてはどのように考えているか。

【答弁：保健福祉部長】

吉田社協の訪問介護事業所については、理事会で職員の退職に伴い廃止せざるを得ないという議題が上がりました。吉田地区の訪問介護事業所は、職員の配置規定を満たさなくなるので、事業所としては廃止となりますが、本所からのサテライトとして残すよう要望をしています。

また、吉田地区以外の遠隔地における訪問介護事業

の需要については、今後の高齢者人口や要介護認定者の推計から、急激に減少しないことから、一定の需要は今後も続くものと考えており、訪問介護の職員の人員不足、担い手不足による事業所の規模縮小や閉鎖が今後も起こり得る状況の中、在宅でのサービスを希望されても、なかなかその訪問等の提供ができず、最終的には施設入所になるケースも起こり得るのではないかと考えています。

【質問】

介護保険事業計画に書かれている数字では、11年後の2035年は、本市の人口は、現在から1万5,000人減って5万2,000人になる一方で、要支援・要介護認定者数、今現在5,500人、それが5,200人と若干減る程度となっている。

この介護を担う人材を5万2,000人の人口で5,300人の要認定者の介護を担えるのか。この介護の人材不足をどう確保していくか、これは病院以上に深刻な問題だと思う。医療需要は3割、4割減るが、介護需要はそこまで減らない中、少なくとも人口でどう賄っていくかを真剣に考えなくてはいけない。

市のこれからの施策として、病院のほうに5,000万だ、2,000万だというお金投じるのであれば、優先すべきは11年後の介護の人材不足をまず優先すべきではないかと思うがどうか。

【答弁：市長】

医療については、市立宇和島病院の役割、そして吉田・津島病院の役割の中で、身近なお医者さんとして担っていただくことを目的として、今回制度化したところです。

11年後、同じようなニーズを担っていくことは大変なことですので、病院とは違った価値観で、対策は必要であると認識しています。

その他の質問事項

◆「共に創る」の本質はなにか

◆伊達博物館改築事業について

With 市民

さかお まこと
坂尾 眞

本市の財政状況と今後の課題について

【質問】

毎年広報つわじま9月号で市の財政状況が記載されている。一般、特別会計とも健全で積立基金残高が192・2億円、市債残高も297・1億円、昨年度比で23・6億円減少したとの報告である。健全なのは結構だが、要因をどう考えているか。

【答弁：市長】

平成17年の大合併以降、この地方債の残高の圧や職員数の適正化を図ったり、行財政改革に努めたことが挙げられると思います。

【質問】

能登半島の復興事業において、国の施策があまりにも粗末なのはともかく、地域自治体の人材不足が大きな問題で、行政力の低下が今問題とされている。市長部局の市職員数について、

10年間の正職員数、非正職員数の増減について問う。

【答弁：総務部長】

企業会計を除く職員数について、正職員は平成27年4月1日時点が625人、令和6年4月1日時点が579人で46人の減少となっています。会計年度任用職員は平成27年度が609人、令和6年度が641人で32人と増加しています。

【質問】

非正規職員の比率はどれほどか。

【答弁：総務部長】

全職員1,220人に占める割合は52・5%となっており、平成27年と比べて3・2ポイント増加しています。

【質問】

この原因についてどのように思うか。

【答弁：総務部長】

定員適正化計画においては地方創生の取組や防災・災害対策など業務量の増加に対応するために、平成30年度以降は基本的に正職員を維持する方針です。

しかし、予定する新規採用職員が確保できておらず、それらを補完するため

に会計年度任用職員を充てていることが主な要因となっております。

【質問】

世間一般では人手不足例産とか言われ大変な状況が進んでいると思う。大学卒業で正規職員と非正規職員とでは生涯収入でどれぐらい差があるのか。一般的な30歳の事務職ではどれほど差があるのか。

【答弁：総務部長】

大学卒業後に入庁し経年数8年で30歳の正職員と、一般事務の会計年度任用職員という条件で令和6年度の年収を試算すると、正職員の年収は約390万円、会計年度任用職員は約300万円となっております。

【質問】

年間約90万円差があるというところで、90万円、30年勤めるとして2,700万円、その他退職金や年金等の差が発生する。募集をかけるが集まらないということだったが、ラスパイレス指数等の改善も含め、正職で補充ができる仕組みをつくってほしい。

【答弁：市長】

職員数を確保していくことは重要だと認識しています。1年間当たり数回に分けて募集をしたり、試験の回数や時期も併せてやったりしています。

働く場所として魅力ある場所であれば若い方々はなかなか来ない。環境整備も必要だと認識しています。

伊達博物館について

【質問】

教育長は伊達文化が宇和島市民、子どもにとってアイデンティティの形成に重要だと言われた。アイデンティティという言葉をどのような意味で使っているか。

【答弁：教育長】

伊達文化は宇和島の歴史、文化等を語る上で欠くことができないものと認識しています。どこで生まれどこで育ち、どのような人と出会い影響を受けたのかというその人自身のいわば人生のストーリー、それがその人にとってのアイデンティティであり、それがそ

の人がその人であることの意味であると捉えています。

【質問】

金瀬教育長は『宇和島教育』151号で、18歳以下の中学・高校生に自己肯定感がない、責任ある社会の一員としての自覚のなさ、社会を変えるどころか自分の進路さえも自分の意志ではなく模擬試験の反映で決めます。もはや自分の人生も自分が所属する社会も他人のことで当事者意識がありません、と嘆いているが、子どもは教育長の言う状況なのか。私は子どもは真っ白で将来に希望を持っていると思う。能登半島地震の募金に千円入れてくれた中学生がいた。子どもは物質的、精神的な貧困な状況に置かれているが伊達文化なるものを押し付けほしくない。非常に有害だと考える。

【答弁：教育長】

坂尾議員の価値観は分かりました。

その他の質問事項

◆伊方原発について

◆子育て支援について

公明党

はたけやま
畠山 博文
ひろふみ

宇和島市をきれいな街に

【質問】
ごみの不法投棄について、具体的な防止対策を問う。

【答弁：市民環境部長】

自分で出したごみの持ち帰りの啓発やボランティア清掃活動の実施、また、ポイ捨て防止の児童ポスターコンクールや海洋ごみ対策セミナーの開催等により、市民、事業者、土地の管理者及び市が一体となって、不法投棄防止策に努める機運をつくり上げるとともに、現場での監視カメラや啓発看板の設置、市内各方面への環境パトロールの実施等を行っています。

また、不法投棄の行為者が判明したときは、原状回復をさせ、悪質な場合は警察とも連携しながら、法令に基づいて厳しい行政処分を行うこととしています。

宇和島市の文化を次世代に

【質問】
宇和島市立伊達博物館の建設の意義について問う。

【答弁：教育部長】

本市には、国重要文化財、絹本著色豊臣秀吉像などが数多く残っており、これらを後世に確実に伝えていくことが、私たちの大きな使命だと考えています。

現在の伊達博物館は既に50年が経過し、老朽化が著しく、また耐震性もないため、災害による資料破損、損失も懸念をされる状況にあります。

これからの時代にふさわしい博物館の在り方として、まちづくり、観光との連携など、役割の多様化と高度化が求められています。

また、宇和島の歴史、文化を保全、継承し、その魅力を広く発信するだけでなく、郷土学習、交流促進、本市の観光拠点として、市民の皆様はもとより、観光客が気軽に活用できる憩いの場としての役割を果たすなど、その建設の意義は大

きいものと考えています。

【質問】

今回、この設計を隈研吾氏に依頼された理由は。

【答弁：市長】

隈研吾氏のデザインは、今そこにある縁のあるものを活用して使っていくことが特徴であり、今回の伊達博物館においても、例えば伊達ゆかりの竹であるとか藤棚、さらには伝統ある手すき和紙のある泉貨紙、そして宇和島藩の藩主が植林をしました藩造林、こういった宇和島にゆかりのあるものを素材として活用していくことにより、過去から現在、そして未来へとつないでいくことができるのではないかと考えています。

あわせて、構原との距離感、観光動線においても、大いに期待ができると思っています。

【質問】

市民の方の中には、人口減少に伴い、立派な博物館は不要であり、経費も抑え、小さなものを求めているとの声も聞かれています。

この声についてどう答えるのか。

【答弁：市長】

博物館に求められる使

命、そして理念を実現していくためには、規模感が必要であり、私は適正であると考えています。

加えて、博物館は単純に何かを展示するだけではなく、災害から守っていくこと、そして、公開承認施設を含めた優れた展示をしていくこと、さらには公園とつなぎ、ワークショップ、イベント等を通じて、この価値を広く活用することができるのではないかと考えています。

これらを観光の方に宇和島を知るきっかけとしていただくことに大いに活用していきたいこともありますが、市民の皆様、大人の方でも宇和島の魅力を知る一つのきっかけになる、子どもたちが宇和島を知る一つのファーストステップ、そういった場所になり得るだろうと感じています。

【質問】

次の世代に何を残せるのか、これまでの宇和島に生きてきた人たちの思いや生き方、そして郷土愛が宇和島の文化であると思う。文化をつなぐ思いを問う。

【答弁：教育長】

文化芸術は人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し、多様性を受け入れることができ、心豊かな社会を形成するものであると記されています。

時代とともに構築されてきた文化をつなぐ主役は子どもたちです。今回の伊達博物館の建築事業には、伊達文化はもちろんのこと、本市の歴史を学ぶ中核施設となるものです。

文化をつなぐには、まず子どもたちが地域の歴史やそこに生活する人々の思いを学ぶことが重要だと考えています。現代に合わせた形で文化をつなぐ力をつけるため、学びの教育にも力を入れていきたいと考えています。

その他の質問事項

- ◆マイナ保険証と利用促進について
- ◆認知症の人に寄り添った地域社会の構築について
- ◆教育現場の課題について
- ◆防災力の強化について

みずほ

みつびし
三井 重郎

財政の状況について

【質問】

平成31年度から令和5年度までの基金残高と市債残高の推移を問う。

【答弁：財政課長】

普通会計における基金残高は平成31年度末で約133億5千万円でした。その後4年間で、約74億8千万円の積み立てを行う一方で、約16億1千万円の取り崩しを行い、令和5年度末における残高は約192億2千万円となり、約58億7千万円の増加となっています。

【質問】

同会計における地方債残高は、平成31年度末で約341億9千万円であったものが、令和5年度末において約297億1千万円となっており、約44億8千万円の減少となっています。

【質問】

実質収支と実質公債費比率の推移を問う。

【答弁：財政課長】

本市の普通会計の実質収支は、平成31年度末で約4.1億円の赤字であったものが、令和5年度末においては約22.7億円となっており、約18.6億円の増加となっています。

【質問】

実質公債費比率は、平成31年度末で4.0%であったものが、令和5年度末において6.2%となっており、平成30年7月豪雨災害対策事業等の影響から2.2%の上昇となったものの、低い割合を維持しています。

【質問】

令和5年度の起債残高は約297億円とのことであるが、実質支払額は、その起債残高の30%弱と推測するがいかがか。

【答弁：財政課長】

令和5年度末における地方債残高の約9割は、臨時財政対策債等の交付税措置率の高い有利な地方債が占めていることから、残高297億円に対して市の実質的な負担額は、約29%の約85億4千万円程度と見込んでいます。

【質問】

今後、大型事業の償還が始まって、健全財政が維持できると考えてよいか。

【答弁：総務部長】

基金残高や地方債残高、健全化判断比率の状況を踏まえ、現在取り組んでいる道の駅津島熱田温泉整備事業や今後予定されている伊達博物館改築事業等の大型事業を実施しても、財政の健全性は十分に維持できると考えています。

地方創生事業の内、第1次産業の振興について（農林水産業）

【質問】

今年度における業者の稚貝入手状況とへい死状況を問う。

【答弁：農林水産振興統括官】

稚貝の入手状況は、県漁協によると、昨年比約4割減となっており、下灘支所の稚貝の生産が不調であった影響が一定程度見られます。

【質問】

へい死状況は、漁場や貝の種類等にもよりますが、昨年5、6割であったへい

死率が、今年では2、3割と令和元年にへい死が始まって以来、最もへい死が少ない状況と伺っています。

【質問】

現在、養殖業者が保有している稚貝数は、一部の養殖業者において不足が心配されますが、全体としては大きく不足する状況にはないと伺っています。

【質問】

へい死への対処法は確立されたのか。

【答弁：農林水産振興統括官】

県漁協と本市が行った昨年までの稚貝のモニタリング調査において、稚貝に感染したウィルスは水温が19℃以上で増殖が活発化し、その後に外套膜委縮が進行して、へい死に至るという経過が確認できています。そこで、当面の対応策として、本年度も県漁協と本市が共同でモニタリング調査を実施し、養殖業者に作業の参考としていただくため、SNSやFAXを通じて、調査結果の配信を15回行い、へい死の軽減に努めたところです。

【質問】

本市において、へい死原因の解明や対策は進んでいると思う。へい死に対する支援策について問う。

【答弁：農林水産振興統括官】
県においては、原因ウィルスの特性や防除法に関する研究のほか、一般社団法人日本真珠振興会が実施する、母貝を養殖したことの回避難漁場での実証試験への支援があります。

県においては、被害軽減技術の開発や感染症に強い貝づくりに関する技術開発への支援があります。また、県産真珠の認知度向上への取り組みや、本市も参加しています。愛媛県真珠販売促進協議会の活動として、ワークショップの実施や、ECサイトと販売会を連動させたマーケティング等にも取り組んでいただいています。

その他の質問事項

◆教育行政について



With 市民

まきの
横野 洋子
ようこ

伊達博物館改築事業について

【質問】

伊達博物館改築においての2回の入札不調を受け、伊達博物館の開館が1年遅れて令和10年春の予定となった。

伊達博物館改築に係る予算は、この1年で10億2,900万円も増額している。要因は、建設資材等の上昇に加え、人手不足により労務費の増額によるものである。

一方で市民生活は、1年前より一層困窮している状態である。市民が求める本来あるべき姿の宇和島と、市長が考える市政とは、大幅に乖離がある。今回上程されている補正予算がもし可決した場合、議会が認められたことになり、その責任は私を含む反対する議員にも覆いかぶさってくる。

伊達家及び伊達博物館改築事業関係業者には手厚

く、市民への負担を大きくしていることに問題はないと言えるのか。今最優先することは、福祉や子育て施策を充実させ市民生活を守ることはないか。

中村県知事は、県民の負担を考慮し、県有地の活用見送りを明言した。伊達博物館改築事業も同様に立ち止まることはできないか。

【答弁…市長】

これまで長きにわたり議論し、議員の皆様にも説明をしてきました。基本計画等の作成段階から市民の方々からもご意見をいただき、採用したのもも実際にあるところですよ。

その後に、議会からは一定の承認をいただきまして、現在は価格についての苦労はありますが、やはり改築事業は進めていくべきだと考えます。一方で他の施策は他の施策として、しっかりと対応してまいりませう。

人口減少対策について

【質問】

人口減少を食い止めるた

めの地方創生の取組はどうなっているか。人口減少に立ち向かう地方創生の取組が全国的にも行き詰まっている。市長からも地方創生について十分な成果となっていないと回答があった。人口流出は、家庭や職場におけるジェンダーギャップ等が地域に残っており、生きづらさによるもの起因しているようだ。市長が言う十分でないところは、これからどのように補っていくのか。

【答弁…市長】

日本全体が人口減少のトレンドに入っており、厳しい状況と思います。人口は増えなくても減らさないようにする努力をしていかなければなりません。

移住者の方の価値観を考え、また地域に暮らす方々にとっても地域の担い手となる環境をどのようにつくっていくのかという考えもあるかと思えます。

この町を維持していくためには、人が必要だということが変わりはありませんので、これまでやってきたことを繰り返しやりながらでも、新たな価値観に挑戦

をしていかなければならないと考えています。

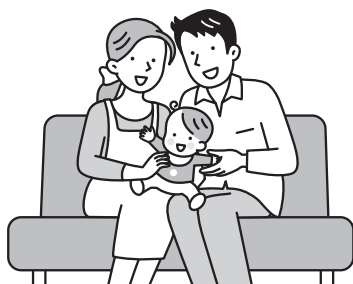
【質問】

女性の地方離れが進み、本市では25歳から29歳の女性が圧倒的に少なくなってきた。女性が地元に戻りやすく、また暮らしやすいように、行政は当事者の声に耳を傾け、女性に選ばれるまちづくりをお願いしたい。

2019年に発行された「未来地図帳」によると、若い女性の減少が子どもの数に直結し、本市は全国で2番目に女性減少が顕著になり出生数が激減すると書かれている。そういった懸念について対策はとられているのか。伊達博物館の改築どころではない。博物館があっても、そこに住んでいる人がいない。人口減少の対策はしているかもしれないが結果が出ていない。優先すべき施策を間違えていないのではないか。

【答弁…市長】

若い女性の方々が、この地域を離れているという現実については承知しているところですよ。その世代の方々と私との会話におきま



して、働く場所のことをよく伺いますが、市でそれらの課題に十分な答えがないのも事実であります。

県では、ひめボス宣言事業所認証制度等、様々な取組をされているので、それらに併せて、市としても成果につなげていきたいと思えます。

施策の優先順位については、どれもすっかりやっていくところで、結果は厳しい状況ではありますが、これからも努力をしていきたいと思えます。

無会派

山本 定彦
やまもと さだひこ

水道インフラについて

【質問】

基幹となる水路や配水池の耐震の現状をどう把握し、対応していくのか。

【答弁：水道局長】

水道局における耐震化の状況は、令和5年度末現在の数字で、基幹管路の総延長が約250キロメートル、このうち耐震適合管が約54キロメートルで、耐震化率は21・7%となっています。また配水池は94か所ありますが、耐震化率は60・9%となっています。今年度から第8次整備事業に取りかかっており、水の安定供給を図るために、引き続き各施設の耐震化を進めたいと考えています。続いて、水道局で水の供給を受けている南予水道企業団と津島水道企業団の耐震化状況について聞き取りました。

まず、南予水道企業団に関して、宇和島市に関連す

る基幹水路、総延長は約25・8キロメートル、このうち農林水産省にて農業用利水施設として耐震調査済みとされている導水トンネルが約8キロ、耐震適合管としては約5・6キロです。耐震化率は52・5%となるかと思えます。

次に、津島水道企業団における基幹管路の総延長は約31・7キロメートルで、このうち耐震適合管は約0・6キロで、耐震化率は1・8%です。

両企業団の導水管路は、御承知と思いますけれども、上水と農業用水の兼用になっていきます。しかし、農業用水の財産比率がいずれも9割弱、そのほとんどを占めています。このことから、両施設とも現在国・県主導で機能保全の事業が進められています。管路の耐震化についても、構成市町とも連携をしながら企業団を通じて適宜働きかけを行っていきたいと考えています。

山の保水力と災害の関係性について

【質問】

森林環境贈与税について、残高と今後の使途、今後の森林保全について問う。

【答弁：農林水産振興統括官】

令和2年度からの4年間で116件の補助を行ったほか、児童館への木製遊具の導入や新生児に贈呈する積み木の費用に充てるなど、木材の利用の促進を図っています。今後の使途は既存の事業を継続しながら、森林環境譲与税の主な目的である森林整備をより推進していくために、経営管理事業の拡充を図るとともに、造林事業に対する新たな支援を創出するなど、森林整備に重点的に活用します。

また基金は令和5年度末で9,614万円の残高になっています。こちらにも主に森林整備に充てていくほか、公共施設の木造・木質化など、木材の利用促進の財源としても活用する予定です。

今後の森林保全は、経営管理事業を軸として手入れ

されていない人工林の間伐を行うことで、下草などの下層植生の発達を促し、水源涵養や土壌保全など森林の持つ多面的機能を増進させることで、山地災害の防止や生物の多様性の保全に寄与していく予定です。

定期接種となる新型コロナウイルスワクチン5つ（レプリコンワクチン）は安全なのか

【質問】

新型コロナウイルス接種後の遷延する症状に関する実態調査などで、ワクチン接種と接種後の症状との因果関係の有無は不明だが、一部には発症から長期間経過しても回復しない事例などが報告されており、引き続き新型コロナウイルスワクチン接種後の症状について幅広く評価を行って必要があるため、ワクチン接種後から発症または症状が悪化するまでの期間や、症状の持続期間が長かった症状についても、必要に応じて報告を検討する旨を周知されたと理解しています。

【答弁：保健福祉部長】

新型コロナウイルス接種後の症状について幅広く評価を行う必要があることから、悪化するまでの期間や持続期間が長かった症状についても必要に応じて報告を検討する旨を周知されたと理解しています。

その他の質問事項

◆教育環境について

必要に応じて報告を検討する旨連盟通知に明記するも

のと通達があった。この通達を受けての所見と対応について問う。

【答弁：病院事業管理者】

ワクチン接種をされた方の中に発症から長期間経過しても回復しない事例等があることは承知してあります。定期の予防接種等における副反応疑いの報告等取扱いについての一部改定により、新たに「遅発性の症状または遷延する症状を含む」という文言が追記されたため、ワクチン接種後から発症または症状が悪化するまでの期間や、症状の持続期間が長かった事例も必要に応じて報告したいと考えています。